

私たちの町の

今

上島町の少子高齢化の現状

私たちが住むここ上島町では、全国水準を大きく上回る少子高齢化率が問題になっています。実際に、それによる影響も出ており、例えば、少子化による小・中学校の統合、また高齢化に伴い、古くから上島町の産業経済の要であった造船業の衰退など、その数は計り知れません。では、少子高齢化対策として、私たちの町はどのような対策をしているのでしょうか。

観光客、そして移住者を

増やすために

上島町では観光客を増やすべく、誘致事業に力を入れています。例えば、マラソンやサイクリング等の大会を開催したり、県民球団の公式戦や離島甲子園等を上島町で開催することもあります。また、それに伴って、離島に欠かせない交通機関を充実させており、徒歩や車など、どんな場合でも困ることなく、観光を楽しむことができます。



「住んでよし！来てよし！元気島」

～上島町まちづくり計画について～

「上島町まちづくり計画」では「住んでよし！来てよし！元気島」をキャッチフレーズに、町民が環境・健康・産業・知恵（教育）・交流・自治等、多方面にわたるまちづくりの分野で、いきいきと活躍する「人」になることを目指してさまざまな取り組みをしています。これは、上島町の人口減少に伴う「地域活力の低下」を解消させることが目的です。主な活動としては、公営住宅や交通機関の設備、就学支援金などがあります。

